

令和2年度 第2回 駒澤大学大学院法曹養成研究科教育課程連携協議会 報告書

1. 日 時:令和2年11月2日(火) 15時30分～16時40分

2. 場 所:Google Meet

3. 出席者:

(委員)松本英俊、青野博之、岡正晶、海永修司、森脇亜美

(幹事)佐藤稔彦、松居健太郎

4. 議 題:

(1)3+2法曹コース連携について 6(2)法曹コースと法科大学院への進学プロセスについて 7(3)事前質問への回答

5. 議事概要:

(1)協議事項および報告

① 法曹コースと法科大学院への進学プロセスについて

松本議長より、以下の通り説明がなされた。

・法曹コースの学生は成績上位者と予想され、早期卒業後に既修者コースへ入学することが想定される。

・法曹コースの4年生は、第一志望の法科大学院に不合格等の理由で早期卒業を断念したケース等が考えられる。

・連携法科大学院は、法曹コース学生(他大学出身含む)を対象とした特別選抜入試(定員の2分の1)を実施可能である。

・法曹コースに入らなかった学生、非法学部出身者、社会人等は、従来通り未修者または既修者コースへ入学する。

② 事前質問への回答

事前に提出された岡委員からの質問に対し、松本議長より回答がなされた。

(2) 主な質疑応答・意見交換

上記説明を受け、以下の意見が出された。

- ・「3+2法曹コース」については、受験者確保および優秀な人材獲得の観点から、本学においても設けるべきである。
- ・合格に至らなかつた学生に対し、法曹以外の進路支援を行うなどの特色を打ち出すことも重要であるとの意見があつた。

以上